

臨床医学系

内科学講座

膠原病・リウマチ内科

著書

- 1 長澤浩平：口腔乾燥症の治療．シェーグレン症候群の診断と治療マニュアル 194-200，診断と治療社．東京 2009．
- 2 多田芳史：全身性エリテマトーデス．ガイドライン外来診療2009 453-455，日経メディカル開発．東京 2009．

原著論文

- 1 萩森奈央子，田崎正信，清松和子，富安真由美，長澤浩平，藤戸博，遠藤恵理華，高橋浩二郎，玉利一也，牛島由美子，白石和代，竹内綾子，北村美奈子，末廣勉，大西俊彦：依頼者による医療施設の治験実施体制の評価と問題点．YAKUGAKU ZASSHI 129：537-548．2009．
- 2 *Horiuchi T, Washio M, Kiyohara C, Tsukamoto H, Tada Y, Asami T, Ide S, Kobashi G, Takahashi H, and the Kyushu Sapporo SLE Study Group.: Combination of TNF-RII, CYP1A1 and GSTM1 polymorphisms and the risk of Japanese SLE: findings from KYSS study. Rheumatology 48: 1045-1049. 2009.
- 3 *Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, Tada Y, Asami T, Ide S, Takahashi H, Kobashi G and The Kyushu Sapporo SLE (KYSS) Study Group.: Cigarette smoking, N-acetyltransferase 2 polymorphisms and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. Lupus 18:630-638.2009.
- 4 *Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, Tada Y, Asami T, Ide S, Atsumi T, Kobashi G, Takahashi T, and The Kyushu Sapporo SLE (KYSS) Study Group.: Cigarette smoking, STAT4 and TNFRSF1B polymorphisms, and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. J Rheumatol 36: 2195-2203. 2009.
- 5 Koarada S, Tsuneyoshi N, Haruta Y, Tada Y, Mitamura M, Inoue H, Ohta A, Fukudome K and Nagasawa K: Effect of disease activity and corticosteroids on serum levels of soluble endothelial cell protein C receptor in patients with systemic lupus erythematosus. Mod Rheumatol 19: 173-179. 2009.
- 6 小荒田秀一，多田芳史，大田明英，末松梨絵，井上久子，長澤浩平，福岡麻美，青木洋介：リウマチ・膠原病に合併した気道感染症に対するメシル酸ガレノキサシン水和物 garenoxacin の有用性の検討 Pharma Medica 27：86-92．2009．
- 7 Mitamura M, Tada Y, Koarada S, Inoue H, Suematsu R, Ohta A and Nagasawa K: Cyclosporin A treatment for Japanese patients with adult-onset Still's disease. Mod Rheumatol 19: 57-63. 2009.
- 8 *鷲尾昌一，清原千香子，堀内孝彦，多田芳史，浅見豊子，井手三郎，小橋元，高橋裕樹，渥美達也，近江雅代，廣田良夫，稲葉裕，永井正規（九州札幌 SLE 研究グループ）：ペットの飼育と全身性エリテマトーデス発症のリスク．臨床と研究 86：88-91．2009．

総説

- 1 長澤浩平：私の処方 シェーグレン症候群の治療．モダンフィジシャン 29：110-111．2009．
- 2 長澤浩平：診療の秘訣 若い女性のときどきの急な発熱はシェーグレン症候群を疑う．モダンフィジシャン 29：260．2009．

- 3 長澤浩平：ステロイド性骨頭壊死に関する最近の知見．リウマチ科 41：545-552．2009．
- 4 長澤浩平：関節リウマチ診断法の進歩．臨床と研究 86：681-685．2009．
- 5 多田芳史：関節リウマチと Toll-like receptor．九州リウマチ 29：1-4．2009．

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 青木洋介，福岡麻美，永田正喜，長澤浩平：いま，我が国の大学・病院では感染症をどのように教育しているか - その現状と課題 - 佐賀大学病院では - 基本的臨床力の向上を可能にする感染症診療・教育の開拓 - ．第83回日本感染症学会総会シンポジウム．2009，4，23．感染症学雑誌 83：S94-95．
- 2 福岡麻美，永田正喜，青木洋介，長澤浩平：卒後初期臨床研修における感染症教育の実績と今後の課題．第83回日本感染症学会総会．2009，4，23．感染症学雑誌 83：S261．
- 3 *堀内孝彦，内野愛弓，塚本 浩，新納宏昭，三苫弘喜，木本泰孝，押領司健介，中川美聡，吉澤誠司，古郷 功，西坂浩明，吉澤 滋，多田芳史，大塚 毅，長澤浩平，赤石浩一：ループス腎炎に対するタクロリムスの有効性と安全性 - 投与開始後1年経過した29例の解析 - ．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 225．
- 4 井上久子，末松梨絵，多田芳史，小荒田秀一，大田明英，長澤浩平：膠原病治療におけるサイトメガロウイルス（CMV）感染症での臨床的特徴についての検討．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 305．
- 5 小荒田秀一，多田芳史，末松梨絵，井上久子，大田明英，長澤浩平：SLE 由来自己抗体産生 RP105 陰性 B 細胞の BRRs の発現と機能解析．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 213．
- 6 小荒田秀一，多田芳史，末松梨絵，井上久子，大田明英，長澤浩平：自己免疫疾患における自己抗体産生 RP105陰性細胞 B 細胞のフェノタイプ解析．第37回日本臨床免疫学会総会．2009，11，13～15．第37回日本臨床免疫学会総会抄録集 444．
- 7 小西 舞，小荒田秀一，田代知子，末松梨絵，井上久子，多田芳史，大田明英，長澤浩平：顕微鏡的多発血管炎と側頭動脈炎をオーバーラップした稀な一例．第14回血管病理研究会．2005，10，9．第14回血管病理研究会抄録集．
- 8 増田正憲，甲斐敬太，長澤浩平，徳永 蔵：結節性多発動脈炎における腎血管病変の治療による変化．第14回血管病理研究会．2005，10，9．第14回血管病理研究会抄録集．
- 9 長澤浩平，多田芳史，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，三田村未央，堀内孝彦，大田明英：ステロイド性大腿骨頭壊死症の予防研究：ワルファリンとスタチンを併用して．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 227．
- 10 末松梨絵，多田芳史，藤健太郎，澤部琢哉，西坂浩明，井上久子，小荒田秀一，大田明英，塚本浩，堀内孝彦，長澤浩平：悪性腫瘍を合併した多発性筋炎（PM）7例の臨床的検討．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26．第53回日本リウ

マチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 375．

- 11 末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：血球貪食症候群を来した Sjogren 症候群の一例．第18回日本シェーグレン症候群学会プログラム・抄録集．2009，9，3～9，4．第18回日本シェーグレン症候群学会プログラム・抄録集 84．
- 12 多田芳史，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，大田明英，長澤浩平：マウスコラーゲン関節炎における Interferon Regulatory Factor 5 (IRF5) の役割．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム．2009，4，23～26．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，第18回国際リウマチシンポジウム抄録集 370．

地方規模の学会

- 1 *藤健太郎，塚本浩，澤部琢哉，永野修司，都留智巳，大塚 誠，中島 衝，長澤浩平，多田芳史，西坂浩明，吉澤誠司，真弓武仁，吉澤 滋，上田 章，民本泰浩，三苦弘喜，井上 靖，有信洋二郎，新納宏明，堀内孝彦，赤司浩一：RA に対するトシリズマブの長期成績と承認後のトシリズマブ，アダリムマブ使用例における感染症．第38回九州リウマチ学会 シンポジウム．2009，9，5～6．第38回九州リウマチ学会プログラム集 36．
- 2 *井上 靖，隅田幸佑，小野伸之，長藤宏司，三苦弘喜，有信洋二郎，新納宏昭，塚本 浩，堀内孝彦，多田芳史，長澤浩平，赤司浩一：皮膚筋炎に合併する治療抵抗性間質性肺炎に自己末梢血幹細胞移植が奏功した一例．第37回九州リウマチ学会．2009，3，14～15．第37回九州リウマチ学会プログラム抄録集 61．
- 3 河田康祐，多田芳史，末松梨絵，小西 舞，井上久子，小荒田秀一，大田明英，岩永 希：エタネルセプトで治療中の関節リウマチ患者に発症した顕微鏡的多発血管炎の一例．第37回九州リウマチ学会．2009，3，14～15．第37回九州リウマチ学会プログラム抄録集 66．
- 4 小西 舞，井上久子，末松梨絵，小荒田秀一，大田明英，長澤浩平：心筋梗塞で発症した大動脈炎症候群の一例．第37回九州リウマチ学会．2009，3，14～15．第37回九州リウマチ学会プログラム抄録集 67．
- 5 小西 舞，小荒田秀一，金子哲也，末松梨絵，井上久子，多田芳史，大田明英，長澤浩平：インフルエンザワクチン接種後に顕微鏡的多発血管炎と側頭動脈炎を合併した稀な一例．第38回九州リウマチ学会．2009，9，5～6．第38回九州リウマチ学会プログラム集 70．
- 6 永野智子，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：血球貪食症候群を合併した Sjogren 症候群の一例．第38回九州リウマチ学会．2009，9，5～6．第38回九州リウマチ学会プログラム集 64．
- 7 末松梨絵，多田芳史，井上久子，小荒田秀一，大田明英，長澤浩平：膠原病治療経過中の発熱症例に対するプロカルシトニン測定の有用性．第38回九州リウマチ学会．2009，9，5～6．第38回九州リウマチ学会プログラム集 57．
- 8 多田芳史，小荒田秀一，井上久子，末松梨絵，大田明英，福岡麻美，長澤浩平：膠原病患者に合併したノカルジア感染症の検討．第37回九州リウマチ学会．2009，3，14～15．第37回九州リウマチ学会プログラム抄録集 43．

その他の学会

小荒田秀一，長澤浩平：膠原病およびステロイド治療と血管障害．アレルギー講習会．2009，3，7．アレルギー講習会プログラム

- 1 長澤浩平：ワーファリンとスタチンによるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防研究．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班 平成21年度 第一回会議．2009，7，11．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班 平成21年度 第一回会議 プログラム集
- 2 長澤浩平，多田芳史，小荒田秀一，堀内孝彦：抗凝固薬とスタチンによるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防研究．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班 平成21年度 第二回会議．2009，12，12．厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 特発性大腿骨頭壊死症調査研究班 平成21年度 第二回会議プログラム集
- 3 大田明英，末松梨絵，松浦江美：成人 Still 病：多施設調査について．成人 Still 病（AOSD）研究会．2009，9，12．成人 Still 病（AOSD）研究会プログラム
- 4 多田芳史：「多発性筋炎・皮膚筋炎に合併した間質性肺炎に関する多施設共同研究 - 第2報 - 」。第3回福岡膠原病研究会．2009，2，7．
- 5 山口加奈子，岩切龍一，藤本一真，大田明英，長澤浩平：全身性強皮症における逆流性食道炎とヘリコバクターピロリ感染の検討．厚生労働省『強皮症における病因解明と根治的治療法の開発』研究班2008年度班会議・第12回強皮症研究会議（SSc, Scleroderma Study Conference）合同会議プログラム．2009，1，17．厚生労働省『強皮症における病因解明と根治的治療法の開発』研究班2008年度班会議・第12回強皮症研究会議（SSc, Scleroderma Study Conference）合同会議プログラム集 P 16．

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	長澤 浩平	平成21年度厚生労働科学研究費	難治性疾患克服研究事業大腿骨頭壊死症調査研究班(研究分担者)	特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	1,500
教授	長澤 浩平	共同研究		自己免疫疾患患者由来 RP105陰性細胞 B細胞の膜上に特異的に発現する分子の同定と当該細胞の自己免疫疾患における役割に関する研究	1,950
講師	多田 芳史	平成21年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【臨床】	全身性エリテマトーデスの病態発現におけるインターフェロン調節因子5 (Interferon regulatory factor-5, IRF-5) の作用の解析	1,000
助教	小荒田秀一	平成21年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業【臨床】	自己免疫疾患における自己抗体産生 B細胞における BAFF/APRIL 受容体の発現の解析とその臨床応用	800
助教	小荒田秀一	平成21年度佐賀大学インセンティブ		自己免疫疾患における自己抗体産生 B細胞における BAFF/APRIL 受容体の発現の解析とその臨床応用	485
特別研究員	三苫 弘喜	特別研究員奨励費		膜型 TNF の細胞表面への表出機構とその内向きシグナルの解明及び炎症性疾患への応用	1,000